

東海財界倶楽部例会開催 ジャーナリスト成田俊一氏を招いて



講演を行う成田俊一氏



乾杯の挨拶を行うホクセイの山下三男社長

小社主催の異業種交流会「第二〇回東海財界倶楽部」が「ホテルオークラレストラン」で開かれ、ジャーナリストの成田俊一氏による「私が見てきた今の北朝鮮」と題する講演を開催した。

成田氏は、暴力団、企業犯罪などを専門的に取材を行い、執筆活動が続けているジャーナリスト。また、二〇〇五年からは、毎年一回北朝鮮に入り、第一線で取材を行い、雑誌などで記事を発表している。今年も、五月二十三日から六月一日まで、北朝鮮を訪れ、現地取材を行った。

北朝鮮によるミサイル発射など緊迫する国際情勢の中、自身の目で見てきた北朝鮮の今を

語った。

「一〇年間取材を続けていると道路や建物など驚くくらい発展をしています。あらゆるものが豊かになってきています。しかし、これから先どのように進んでいくかは、国のリーダーを神様のようにあがめる気持ちの有り様が不安であり、怖さにつながっている。そして、あれだけのミサイルを開発できるようになり、日本はこれからより深刻な問題を抱えるように思えます。そんな中で、記者としての見解としては、北朝鮮は戦争を起こすことは無いと思っています。事を起こしたら自国が消滅してしまうことを理解している。現状は軍事的なことばかりが報道されているが、平和な道を探していることも知ってもらいたい」

講演の後、歓談に移り和やかに懇親した。

主な参加者は、中日本興業・服部徹社長、ホクセイ・山下三男社長、セントレア・中山厚監査役、産経新聞・櫻井大輔名古屋総局長、駐名古屋大韓民国総領事館・鄭煥星総領事ら。